

2015
11

広報～風・菜・樹

ふなき便り



● 社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

秋の 扶老会フリーマーケット

10月4日（日）、第35回扶老会フリーマーケットを開催しました。

この日は天気にも恵まれ、大勢のお客様にご来場いただきました。地域の皆様から60を超える出店があり、衣類や雑貨、手作りの小物など様々な出品物がありました。お客様は掘り出し物を見て回ったり、出店の食べ物を召し上がったりされており、とても賑やかな1日となりました。

イベントでは、「桜翔連」と「Airy77」の2団体をお招きしました。桜翔連は宇部フロンティア大学のよさこいサークルで、各所でボランティア活動をされています。Airy77は宇部市にあるHIPHOPやJAZZのダンススクールで、子どもから大人までレッスンをされており、今回はキッズクラスの皆様にお越しいただきました。それぞれが華麗な演技を披露して下さい、大いに会場を盛り上げていただきました。

また、障害福祉サービス事業部からは初の試みとして、抽選会を企画しました。当選した方には豪華景品をプレゼント！皆様には素敵なドキドキ感を味わっていただけたのではないかと思います。最後に、感謝を込めて「菓子まき」も行い、盛況のうちに終わることができました。

今回無事開催する事が出来たのも、ご来場して下さいました皆様や出店していただいた皆様のお陰です。またボランティアとして、宇部フロンティア大学の学生さんにも参加頂きました。外からの新鮮な空気という意味で、多くの点で気づきや実りがありました。本当にありがとうございました。来春も開催を予定しておりますので、また皆様の笑顔に会えるのを楽しみにしております！

扶老会と地域を
つなぐイベントです！



出 店

焼きそばや焼き鳥といった定番のものから、サムラの弁当やから揚げ等、豊富な種類をご提供しました。

また、ケアヒルズ扶老会スタッフによる血圧測定や健康相談の区画を設け、お客様のご相談をお受けしました。



ステージ

扶老会フリーマーケットは地域の団体様のご協力が不可欠です！

力強いよさこいと、かっこよくて可愛いダンスで華を添えていただきました。



会場の様子

たくさんのお客様がいらっしゃいました。その盛況の様子をご覧ください！

菓子まきではお子様と大人のゾーンを分けて行いました。安全に、楽しんでいただきました。

スポーツの秋を満喫！

9月下旬から10月上旬にかけて、さまざまなスポーツイベントに参加してきました。

ソフトボール交流試合

9月27日（日）、宇部市の亀浦公園グラウンドでソフトボールの交流試合を行いました。当事業部の有志の利用者さんと職員の混合チームを作り、社会福祉法人光栄会と宇部市身体障害者福祉協会の白鳥会の2団体の皆さんと対戦しました。

一生懸命に打って、守って、ハツラツとした汗を流しました。惜しくも敗れはしましたが、2試合とも最終回の土壇場で大量得点をし、大いに盛り上げることができました！利用者さんも「疲れたけど楽しかった、次は勝ちたいな～」と感想がありました。

練習を重ね、次こそは勝利を手にしたいと思います！



利用者さんのバットイング！何本もヒットが出ました。

ピッチャーも利用者さん。打たせて取る華麗な投球です！



友遊運動会 参加

10月9日（金）、宇部市俵田翁記念体育館で開催された第29回友遊運動会にハイツふなき、ヴィラふなき、生活支援センターふなきの利用者さんと参加しました。

今回の運動会には、宇部市近郊で生活されている当事者の方が多数参加され、皆様、一生懸命競技に取り組まれていました。

団体競技の綱引きでは、3位という好成績を収めることができました。実際に綱引きに参加された方の頑張りはもちろんですが、参加されていない方も大きな声を出して一生懸命に応援される姿がとても印象的でした。



定番のパン食い競争の様子。食が絡むと燃えます(笑)

大健闘した綱引き！力強さと熱気が伝わってきます！



キラリンピック 参加

10月11日（日）、山口市のやまぐちリフレッシュパークで行われた「やまぐち総合スポーツ大会 第15回キラリンピック（障害者総合球技大会）」にハイツふなき・ヴィラふなきの利用者さんと参加してきました。

キラリンピックは障害のある方がスポーツの楽しさを体験する事を目的とした大会であり、今回はボッチャとボウリングに出場しました。結果は練習不足もあり、ボッチャは予選リーグで敗退となってしまいましたが、「いい運動になった」「また来たい」という声がありました。ボウリングでは同じレーンとなった他事業所の選手と会話をし、交流を深める事が出来ました。

選手の皆さん、お疲れ様でした。



ボッチャでの投球。ジャックボールを狙って渾身の一球！

ボウリングは別会場で。丁寧にストライクを狙います。



利用者さんの ところのメロディ♪

今回はサムラの
利用者さんの想いです。

学校を卒業して、サムラのレストラン・パン工房に勤めだして今年で7年目となりました。

今では宇部総合支援学校の実習生の人や、いろんな人に優しく教えています。人に対して教える事が出来るようになったのは、他の利用者さんや職員さんの教え方を見たり、自分で言い方を考えたりしながら仕事をしたからです。とても難しかったです。

サムラへはバスで通勤しています。僕が初めて入った頃より集中して仕事出来るようになりました。僕はみなさんと違ってあまり体力がありませんが、努力して頑張っています。また、揚げパン担当なので、これからも頑張っていきたいと思います。

これからもパンを焼いたり、いろんなことを経験して、色んな仕事をしていきたいと思います。



● サムラのパン工房でカレーパンを揚げる様子です。

「お客様に美味しく食べていただけるようにパン作りを頑張ります！」と頼もしい言葉をいただきました！

職員勉強会 ～虐待防止・権利擁護研修～

この度、障害福祉サービス事業部では、今年度2回目の虐待防止・権利擁護に係る職場内研修を実施致しました。

今回は全職員に事前アンケートを実施し、今年県内で発生した障害福祉サービス事業所における虐待事案に対する意見、事業所における虐待・権利侵害の発生要因の分析、健全な組織・支援の在り方への提言等、職員の多くの思いを抽出することが出来ました。

研修では講義と演習を行い、演習ではグループに分かれてのグループワークを実施し、虐待・権利侵害につながりかねない日常的な支援場面を盛り込んだ複数の事例検討と、模擬的に虐待防止・権利擁護の推進に向けたスローガンと行動指針の策定を行いました。色んな意見やアイデアが飛び交い、時に真剣に、時に和やかに、充実した演習を行うことが出来ました。

皆、事業所や立場は違っても、障害者支援に対する思いや姿勢は同じであることを再認識し、組織が一体となって更なる利用者満足向上へ取り組む良い機会になったと思います。



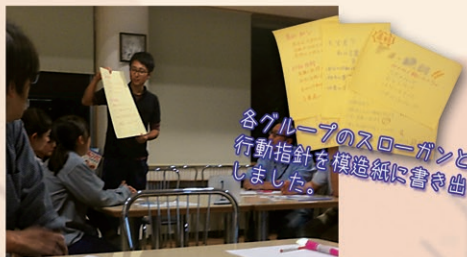
● 佐伯所長による講義の様子。



● グループ演習。事例検討し、意見を持ち寄ります。



● 事前アンケートを集計した冊子。他職員の意見を見て、多くの視点に気付く事ができました。



● 作成したスローガンと行動指針の発表です。虐待・権利侵害を根絶する為に、こういった心構えと行動が必要が、グループの考えを発表しました。



● 各グループ、虐待防止スローガンと行動指針を考えます。

山口南総合支援学校から事業所見学に来られました

9月30日（水）、山口南総合支援学校から中学部生徒の皆様が、ハイツふなき・ヴィラふなき・サムラの見学に来られました。

ハイツふなきでは軽作業の作業場、ヴィラふなきでは利用者さんの生活空間、サムラでは厨房とパン工房など、真剣な眼差しで興味深そうに見学されており、大変嬉しく思いました。

見学後には皆様からたくさんのご質問をいただき、最後はサムラでランチを食べて終了となりました。

この度対応した職員一同、皆様からのお礼の言葉に大変感動させていただいた見学でした。



サムラ厨房の様子を見学する皆様。生徒さんは、厨房内で働く利用者さんの姿を見られていました。



続いて、ハイツふなきの軽作業の見学です。職員の説明を真剣に聞き、メモを取られていました。

今月のエソラゴト

近年、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）と呼ばれるインターネット上の人と人とのつながりや交流を目的としたウェブサイトの利用者が増えています。私もSNSの利用者の一人であり、周りにも何らかのサービスを利用している人が多くいます。SNSによっては、親しい知り合いのみならず、同じ趣味の人、同じ出身地や同じ学校出身の人、同じ業界で仕事をしている人など、自分と同じ共通点を持つ人と出会い、交流を図ることが出来ます。趣味や仕事に関する重要な情報や、最新の情報をSNSで得ることも多くあります。また、企業体としてもSNSを上手く活用して、企業プロモーションを展開している所も目立ちます。このように、SNSは現代社会を象徴する魅力的なツールであり、多くの人が利用する理由です。

しかし、その使い方には注意が必要ですし、使い手のモラルも問われてきます。便利さの反面、不適切な書き込みや、個人情報の流布などのトラブルが自分の意図しない中で起こってしまうリスクがあります。自身の個人情報はもちろんのこと、他者の個人情報（写真掲載とかタグとか）の取り扱いにまで注意が必要です。また実名登録のSNSの場合、それだけ自身の発言に責任が生じます。無意識の発言が、知らないところで自分の価値を落とすこともあります。著名人の場合は「炎上」と呼ばれる現象に表れます。反対に匿名だからと言って何をやってもいいわけではもちろんありません。むしろ、匿名性が高いからこそ、モラルが問われます。匿名だからと軽い気持ちで書き込むのではなく、書き込む内容が全世界の人に見られても良いものなのかどうか考えて書き込むべきなのでしょう。匿名やニックネームであっても、バシてる人にはバシてる。そんなものです。自身のネガティブな感情や、人を嫌な気持ちにさせるものは書き込むべきではないと思うのですが、電子掲示板などでは、そんな書き込みが主流になっています。個人の感情の捌け口や、自己顕示欲の誤った表現に使われることも多いSNSですが、これも現代社会が生んだ一つの文化なのでしょう。

他者に自分の気持ちや考えを表現する場合、「僕のことを見て！僕のことを知って！私ってすごいでしょ！私に同情して！」という自己中心的な自己顕示欲のみを表現するだけでは、人の心には伝わらないと思います。他者を高めてはじめて、自分の価値が高まるということもあります。人とのつながり、交流を目的としたSNSであればこそ、“自己満足”ではなくて“他者満足”を前提とした発信が必要なのだと思います。この習慣が実生活にも生きてくるのです。ここにSNSを利用する真の意味があると思っています。

（佐伯）

CHECK!

扶老会理念 「専門技術と温かい心をもって医療・介護・福祉を实践し、地域社会のセーフティネットとして機能する」
事業部理念 「共に考え、共に実践し、共に達成する」



扶老会

検索

〒757-0216 山口県宇部市大字船木 833

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

- ハイツふなき (0836)67-0188
- ヴィラふなき (0836)67-1883
- 生活支援センターふなき (0836)67-2464
- サムラ(レストラン・パン工房) (0836)67-0171

自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
グループホーム（介護サービス包括型）
相談支援・日中一時支援
就労移行支援・就労継続支援B型

ホームページ

<http://www.furoukai.jp/>

ブログ

<http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>